

ハッカーにやられた！

浜田 道雄

長らく探していた本がアメリカの古書センターに出ているのを見つけて、Amazon を通じて買うことにした。だが、先方からは「発送した」との連絡はあったものの、本は到着期限の1ヶ月が過ぎても届かない。それで、しかたなくまた Amazon を通じてキャンセルし、振り込んだ代金を返済してもらった。

こんなトラブルがあって数日が過ぎたある日、iMessage に見知らぬ電話番号からメッセージが届いた。

「佐川急便ですが、お宅への届け物の住所が不明ですので、ooo@ooo.org に至急連絡してください。」

「なんだ、本は日本には届いていたんだ。住所がおかしかったから、来なかったんだな」と喜んだ私は何も疑わず、すぐにこのアドレスをクリックした。

と、パソコン画面は「不審な者が侵入しようとしたので、あなたの iCloud を閉鎖しました。改めて開くには Apple ID と password を入れてください」という警告に変わった。

「しまった！あのアドレスはハッカーのものだったか」と気づいたが、それでも、私は画面の警告は“本物の Apple”が「いまのアドレスはハッカーのものだった！だからブロックしたぞ！」と知らせてきたものと思いこんでいた。それで、すぐに画面上の指示に従ってブロックを解除しようと ID と password を打ち込んだ。

本来ならばもっと注意してこの画面を調べ、これが Apple からではなくハッカーからのものだと気づかねばならなかったのだ。Apple は「Apple ID と password を同じ画面上に“一緒に”打ちこめ」という指示をしてくることは決してしない。必ず ID を打ち込ませ、それを確認してから新しい画面で「password を」といつてくる。普段であればすぐ気づくことなのだが、あわてていた私にはそこまで疑ってかかる気持ちの余裕がなかった。

ID と password を打ち込むとすぐにパソコンは動かなくなった。完全にハッカーに引っかかってしまったのだ。それに気づいた私は急いで Apple Support と連絡を取り、修復を図った。が、どうしても iCloud のブロックを解除することはできなかった。

結局パソコン上に新しい partition を作って、私自身を新しいユーザーとして登録し、新しい Apple ID を取って、ようやくパソコンは使えるようになった。だが、それは新しいパソコンを手に入れたと同じようなもので、これまで使っていた iCloud は閉鎖されたままだから、そこにこれまで入れていた様々なデータ、資料などにアクセスすることはできない。

不幸中の幸いは、私は iCloud にデータなどを保存するだけでなく、これとは別に外付け HD をも使っていて、かなりのデータを両方に重複保存させていたことである。この外付け HD は若干の操作は必要だったが、新しい ID partition でも使えたからこれまで保存していたデータや資料の多くは取り出せた。だから、これまでのデータのすべてが失われたわけではなかった。

パソコンを使い始めてから 40 年余になる。その間怪しいメールが来たことは何度もあったが、これまではそれをすぐに見破り撃退してきた。それなのに、今回はアメリカに注文した本が届かないというトラブルがあった矢先にそれと思わせるメッセージが来たという悪いタイミングだったとはいえ、こんなハッカーにカンタンに引っかかってしまったことはまことに残念であり、悔しくてならない。

みなさんも、ハッカーには十分ご注意あれ！